



いちいの会 だより



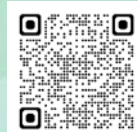
千葉カントリークラブ野田コースにて記念撮影

目次

理事長挨拶	
／事業所だより	2,3
行事いろいろ	4,5
新任職員紹介	
／設備改修報告・ありがとうの会	
／編集後記	6

いちいの会のホームページアドレス
<http://www.ichiinokai.com/>

QRコード



ご意見・ご感想お聞かせ下さい





理事長挨拶

社会福祉法人いちいの会 理事長 山内 幹雄

桜の花も散り春爛漫の季節になりました。皆様、お元気で過ごしてでしょうか。

当いちいの会も設立25年を迎えることができました。

くすのき苑2寮も25年を経過し、当初は2階建てでも若かった利用者様は階段を活発に上り下りできておりましたが、20有余年の間に、各所に傷みが出てきているのみならず、利用者様も年齢を重ね2階建ての建物では危険な為、本年度には増築の上、平屋で支援ができる体制を引くべく計画しております。

近年の想像を超える物価高の下ですがこれまでの活動で得られた資金で建設する予定です。

尚、毎年皆様方のご寄附を頂戴し有意義に使わせて頂いていますが、本年度更なるご支援を頂戴できると幸いです。また、皆様の多大なるご支援を糧に、さらなる発展を目指して邁進してまいり所存です。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

くすのき苑

総合施設長 清本 健二郎

新年度を迎え、日頃より当法人の運営にご理解、ご協力頂き深く感謝申し上げます。今年度はICS計画第二弾として、くすのき苑2寮棟の増築基本設計が形になろうとしています。開所から25年が経ち、特に自閉症や行動障害のある男性の方が生活する棟では、高齢化による影響で、階段の昇降の負担が増えてきました。そこで、現棟前に平屋を増築し、安全で安心できる生活環境を整える計画を進めています。

今回も現場職員の知恵と経験を結集し、単なる改修にとどまらず、現在の利用者様の生活の質の向上と、これからの地域ニーズに応える事業展開を視野に入れた内容となっています。一方で、国の人材不足対策としての処遇改善増額はありがたいものの、物価高騰により改修・修繕費が大きく上昇し、介護給付費の増額なければ健全な事業継続が難しくなるという課題も抱えています。

さて、季節は春から梅雨、そして酷暑へと移ります。外での活動を少しでも涼しく快適に行える環境づくりにも頭を痛めます。

今年度もより良い支援を目指してまいります。御指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

※ICS計画…「いちいの会中長期戦略」計画の略

ワークショップくすのき

施設長 大谷 篤司

今年も変わることなく春が訪れました。背中が大きさとアンバランスな真新しいランドセルを背負った新小学1年生は、朝からとても元気よく学校へ向かって歩いています。そんなに元気で1日体力が持つのか？と心配になりつつも、その姿に元気をもらっています。

新年度を迎えるたびに、「どんな年にしよう」「チャレンジすることは？」と考えてみるものの日々の業務に追われながら、時だけが過ぎ、変わらない毎日を送っていることにふと気が付きます。利用者の皆様とも4月に顔を合わせ、長い年月に体力的、肉体的な衰えにはあらがえないものの、変わらないことや場所がある良さもあるのではないかと思います。

昨年度は、法人で3名の女性職員が出産するという、うれしい出来事がありました。大きなおなかを抱えながら、産休に入るまで本当に大変な思いをしながら、とても頑張ってくれました。育児休暇後も復帰し、またこの法人で働いてくことを望んでくれることにも感謝です。また、育休の間、現場で頑張ってくれた職員にも大感謝です。

女性も男性も育児休業をとり、仕事と育児を両立することができる時代です。育児子育て世代が多い職場でもあるので、家庭の事情でお休みになることも多いです。そのようなときには「困ったときはお互いさま」とは言いますが、そのお互いさまが、お互いさまにならないことがあることも事実。お互いさまの察し合いに委ねるのではなく、仕組みとして解決し、チームとして前向きに進んでいけるようしていければと思います。

今年度も、多くの方々に支えられていることに感謝し、さらなる支援の充実を目指して邁進してまいります。



だより



グループホームかえで

係長 小島 陽子

グループホームの業務に携わり早いもので12年が経ちました。そして、昨年度より、サービス管理責任者をさせていただいております。

入居者様の暮らしをより良いものにするため、日々試行錯誤をしながら事業所一丸となって取り組んでおります。

ここ数年は、感染症対策などで外出の機会が少なかったのですが、昨年度は、月に一度、外出や外食などの余暇の充実を図りました。ゲームセンターでは、クレーンゲームを初めてされた方や、神社へ参拝に訪れた時には、神妙な面持ちで一年の願い事をされる方など、普段の表情とは違う一面を垣間見ることができました。他にも、リサイクルショップへ行きたいとのリクエストもあり、各々欲しい物を見つける喜びや、どんな物があるかわくわくした様子で買い物を楽しまれていました。また、昨年度は2名の方が新しく入居され、ご本人様や保護者様の不安な気持ちをどうしたら払拭でき、安全で安心できる環境を提供できるのか、改めて想いに寄り添うことが大切であることを実感し、初心に帰ることもできた一年でした。

今年度もさらなる余暇の充実を図るため、様々な外出や行事の計画をし、入居者様のご希望に沿った環境を整えながら、日々の暮らしに彩りを添えるお手伝いが出来ればと思います。そして、入居者様の生活に携わって下さる看護師や世話人の方々のサポートによって、安心安全な暮らしが出来ていると感じております。感染症等、まだまだ通年を通し警戒する中でも、楽しく笑い合え、居心地の良い環境を提供できるよう努めて参ります。

中核地域生活支援センターのだネット

所長代理 金 隆史

皆さんは「第三の居場所」という言葉を知っていますか。

自宅や学校(職場)以外で安心感を得られる場所のことを指し、社会情勢の変化に伴い、ここ数年その重要性が高まってきています。

野田市内にも、フリースクールやフリースペースにより支援を行っている団体が存在します。また、不登校の子どもへの学習支援や子どもを対象とした訪問看護事業所等、子どもを取り巻く課題への支援団体があります。

昨年度、野田市にある「社会資源を知ろう」というテーマで、子ども支援団体の方から話を伺う学習会を開催しました。教育関係の方に多数参加いただき、繋がりを生む機会となりました。

のだネットでは、地域総合コーディネートとしての役割も期待されており、地域に存在する社会資源や情報を、必要な方に繋げていくことが私たちの重要なミッションの一つだと考えています。

相談支援センターいちいの木

所長代理 中村 成彦

令和2年度より、野田市から受託していた野田市相談支援事業業務委託が令和7年度で終了になりました。委託の代わりに、令和7年度3月より、地域生活支援拠点等を構成する関係機関との連携体制に参加します。これにより、地域体制強化共同支援加算と、障害福祉サービス報酬費を機能強化型サービス支援費Ⅰで請求できるようになり、報酬費が増額となりました。地域生活支援拠点とは、基幹相談支援事業所さるびあを中心とした野田市内10事業所で構成された機関で、野田市協働体という名称です。野田市協働体では、野田市主催の事例検討会の参加、基幹相談支援事業所さるびあ主催の相談支援専門員連絡会の参加、相談支援センターいちいの木内での事例検討会を月二回開催することになりました。野田市協働体に参加することで、他事業所等との連携を強化し、困難事例・課題等に取り組んで参ります。



くすのき オープンガーデン

第2回目を迎えたくすのきオープンガーデン。第1回目は天気を心配しながら準備をしていた気がするのですが、今回もご多分に漏れず当日微妙な予報。色々な開催パターンを想定しながらの準備でしたが、皆の願いが天に届き、風は少し強かったのですが晴天に恵まれて無事開催する事ができました。

今回は第1回目の枠組みを基に、色々上がった反省点を改善し、新しい企画にも取り組んでみました。特にいつもお世話になっている業者様より、ご厚意で頂いたお米の「無料配布」は、令和の米不足の真っ最中と言う事もありとても大好評。来場された皆様にとっても喜んで頂けました。出店では、第1回目に引き続き今回もご参加いただいた近隣の飲食店様のキッチンカーや、東京理科大学のボランティアサークル様の実験広場など、各種取り揃えた販売コーナーも大盛況でした。ご協力して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

いよいよ令和8年度は真価の問われる第3回目を迎えます。地域の皆様の笑顔を目の当たりにし、なにより私達も楽しんで開催できる事をモットーに、より良い「くすのきオープンガーデン」を作り上げていきたいと思っております。今年度も是非遊びに来てください、お待ちしております！

ワークショップくすのき 生活支援係長 山田 宗成



野田市関宿のゆるキャラ「やど助」



新年会

今年の新年会は初めての試みで市内の櫻木神社で参拝をし、中華のコース料理を食べてきました。櫻木神社では神様の前で二礼二拍手一礼をし、新年のご挨拶をしました。みんなどんなことを祈ったのかなあ…。

その後はお楽しみの中華料理屋です。回転テーブルがあり、テーブルをクルクルと回しながら7種類の料理とデザートのお杏仁豆腐を堪能してきました。油淋鶏やエビチリなど、見た目もとても華やかで、味も美味しいお料理をお腹いっぱい食べて、利用者の皆様も私も大満足の新年会でした。

ワークショップくすのき 副主任生活支援員 金子 由香





ハロウィンパーティ

令和7年度も利用者様とご家族の皆様で、一緒に楽しむハロウィンパーティが開催されました。利用者様、ご家族の皆様、そして職員も皆で様々な仮装をしました。かぼちゃ、魔女、おばけ、ピエロにメイドさん。「かわいい!」「似合っているね!」「誰かな?」と楽しそうな声があちらこちらで聞かれました。お菓子やジュース、ゲームや買い物を楽しみ、フォトブースではハロウィン装飾の前で記念撮影もしました。食堂では、くすのき苑での思い出写真を映像にまとめたものをプロジェクターで流し、思い出話に花を咲かせました。来年度も皆様楽しんで頂けるよう、趣向を凝らしたイベントを計画してきたいと思っておりますので、ぜひご参加お待ちしております。

くすのき苑 主任生活支援員 大谷 晴香



フォトブースにて記念撮影

クリスマス会 & 忘年会

12月10日、昼食の時間に忘年会、午後にはクリスマス会を開きました。

忘年会では、宴会場のような席配置で、皆でわいわいとはしゃぎながら、忘年会用の特別な給食メニューとジュースを美味しく召し上がっていました。午後のクリスマス会では、皆様思い思いの飾りを手に取り、1つのクリスマスツリーを完成させたあと、可愛らしいケーキを皆で頬張りました。

事務員 清宮 和博



一泊旅行 那須・日光方面

10月27日～28日に利用者様4名、職員2名で一泊旅行に行きました。1日目は那須塩原にある千本松牧場に行き、そこでサイクリング用の自転車をレンタルして牧場を1周しました。利用者の皆様は、普段は乗る機会がない自転車に少し戸惑いながらも、サイクリングを楽しんでいました。2日目は日光東照宮を参拝しました。平日にもかかわらず多くの人で賑わっており、利用者の皆様も楽しそうに過ごされていました。

くすのき苑 生活支援員 高島 匡輝



展覧会「うみのもりの玉手箱」

千葉県が主催する障害のある方々のアート展示会「うみのもりの玉手箱」に、利用者様の作品が展示されました。今回、作品を制作した利用者様は、オリジナルのキャラクターを描くことが得意で、色使いなどの表現を楽しみながら今回の作品づくりに取り組みました。会場に展示された利用者様のオリジナリティ溢れる可愛らしい作画は、見た人の心を和ませてくれる素敵な作品だと感じました。これからも自分らしく表現活動を続けてほしいと思います。

くすのき苑 副主任生活支援員 網谷 理香



新任職員紹介

この度、3月からくすのき苑で支援員として働くことになりました福士友之と申します。

青森県弘前市出身で、りんごの生産や桜の名所として有名です。

利用者の皆様が安心して楽しく過ごせるように精一杯頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお祈りいたします。

くすのき苑 生活支援員 福士 友之



4月1日から、くすのき苑に入職することになりました、加藤裕人です。初めての社会人ということもあり右も左も分かりませんが、優しく心強い先輩方を頼りにして、また自身でも努力を怠らずに、健康第一で頑張っていこうと思います。

何卒よろしくお祈りいたします。

くすのき苑 生活支援員 加藤 裕人



設備改修報告



グループホーム ポプラ

写真だと少し分かりづらいですが、外壁を塗り直してキレイになりました！



くすのき苑敷地内 自立訓練棟



2寮ユニットバス

浴室が新しくなり、利用者様にとって以前よりも快適な空間になりました。

ありがとうの会

年度末で退職される職員のありがとうの会が、3月31日に開かれました。

いつも利用者様に対して丁寧な支援をされていて、仕事も率先して行う熱心な方だったので、退職してしまうのは残念ですが、今までありがとうございました。

新天地でも頑張ってください！



編集後記

休日は、家事を午前中に済ませ新しく購入したゲームソフトを午後の1人時間で楽しむ。社会情勢により燃料高騰を受け、大好きなロングドライブは控え、最近は自宅で子供と楽しめるモノを模索しています。(飯塚)

令和8年度がスタートしましたね。今年度は、事務としての業務をきちんとこなしつつ、周りの事に今までよりも更に目を向けて、自分に出ることを増やしていけるように頑張りたいと思います。(清宮)

社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667
FAX:04-7120-6668

発行責任者 総合施設長 清本 健二郎
編集 清宮・飯塚
発行日 令和8年4月吉日

